

2024年度滋賀県民総スポーツの祭典 滋賀県スポーツレクリエーション大会の部

兼 関西マスターズスポーツフェスティバル 2024

バウンドテニス大会開催要項

1. 趣 旨

本大会を通じて子供から高齢者まで幅広く県民に健康・体力づくりと交流の場を提供するとともに、バウンドテニスの一層の普及・定着を図り、身近に親しむことのできるスポーツ活動の振興に資する。

2. 主 催 滋賀県 大津市 大津市教育委員会
 (公財) 滋賀県スポーツ協会 滋賀県レクリエーション協会
 滋賀県バウンドテニス協会

3. 後 援 滋賀県スポーツ推進委員協議会

4. 主 管 滋賀県バウンドテニス協会

5. 協 賛 京滋ヤクルト販売(株) 大津市バウンドテニス協会
 甲賀市バウンドテニス協会

6. 期 日 **2024年 7月6日(土)**
 受 付 8 : 4 5 ~ 9 : 1 0
 開会式 9 : 1 0 ~ 9 : 3 0
 競 技 9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
 閉会式 1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0

7. 会 場 大津市瀬田公園体育館 (大津市一里山 6-9-1 Tel 077-545-2811)

8. 種 目

【午前の部】

7-1-1. チーム対抗B T ラリー戦 (年齢フリー、男女各3人)
(基本クラブ単位としますが、そろわない人は主催者にて組合せます)

7-1-2. お楽しみダブルス戦
(1チーム4名でのチーム戦を行う)

7-1-3. ジュニア ダブルス戦シングルス戦

【午後の部】

7-2. 交流の部

7-2-1. バラエティ-ダブルス (年齢、性別共にフリー, 事務局にて組合せ)

9. 参加資格

9-1. 滋賀県内在住者 又は 滋賀県内のバウンドテニスクラブ所属者
(午前・午後どちらかだけの参加も可。)

10. 競技規則

試合は日本バウンドテニス協会競技規則によるほか、以下の大会競技規定による。審判は原則として相互審判とする。

10-1. 午前の部

(1) チーム対抗BTラリー戦

- ① 1 チーム男女各 3 名の計 6 人で 1 分間のラリーを 3 回行い、総得点（累計ラリー数）で順位を決める。男子に代わり女子の参加は可とする。
- ② 総得点が高点の場合は、3 ゲーム目の得点が多いチームを上位とし、それも同点の場合は 2 ゲーム目の得点が多いチームを上位とする。3 ゲームとも同点の場合は抽籤で順位を決める。
- ③ 選手はチーム毎に 1～6 のゼッケンを胸と背中につけること。
ゼッケンは主管者で準備する。

(2) おたのしみダブルス戦

- ① チーム合計の得失差で勝敗を決める。
- ② 同一人のダブルス戦種目での重複出場は認めない。
- ③ 競技は原則としてリーグ戦方式で行う。但し、参加人数によっては別の方式で行うこともある。
- ④ 試合はすべて 7 ゲームマッチとする。フルゲーム目はタイブレークで行う。
但し、試合の進行状況によっては変更することがある。
- ⑤ ジュースは 4-4 の場合 5 ポイント先取で勝ちとする。
- ⑥ リーグ戦に於いて次の順で順位を決める。
イ) 得失ゲーム数差の合計ポイント ロ) 同数の場合はジャンケンにて

10-2. 午後の部

9-2-1. バラエティ-ダブルス

- (1) 事務局による抽選組合せでダブルス戦を行う。（性別、年齢他全てフリー）
- (2) 試合方式その他原則として競技の部に準じて行う。

11. 表彰

(1) チーム対抗B T ラリー戦

- ① 優勝チームに副賞を授与する。
- ② 特別賞を設け、大会役員より副賞を授与する。

(2) おたのしみダブルス戦

- ① 優勝グループに賞状と副賞を授与する。
- ② 特別賞を設け、大会役員より副賞を授与する。

(3) バラエティ-ダブルス戦

- ① 各コートの1位者2名に賞状と副賞を授与する。

(4) ジュニアの部

- ① 1位～3位に賞状と副賞を授与する。
- ② 「敢闘賞」を設け、大会役員より賞状と副賞を授与する。

12. 参加料（申し込み時払込み、対応不可能な場合当日受付にて支払い可とします）

一人 1,000円

但し、ジュニア 無料

エントリー後の参加費の返金は出来ませんのでご了承をお願いします。

13. 申込方法

別紙様式の参加申込書に必要事項を記入の上、申込先迄郵送・LINE または FAX で申し込む。
（個人単独での申し込みも可。）

14. 申込期限 2024年 6月7日（金）

15. 申込先

大津市皇子が丘2丁目6-8

京滋ヤクルト販売（株）大津営業所内

滋賀県バウンドテニス協会事務局

事務局長 吉川 亜矢子

Fax : 077-535-1758

TEL 090-6678-2083 又は LINE

16. その他

16-1. 体育館用シューズを必ず着用すること

16-2. 競技中に於ける負傷等については、応急の処置とスポーツ障害保険の範囲内で対応するが、その後については責任を負わない。